

# 業種別景況予測

## 2021年10月～12月

							
	特に好調	好調	まあまあ	やや不振	不振	きわめて不振	
部会	7～9月 (実績)	10～12月 (見通し)	概況				
寝装 リピング			「コロナの影響により、先行きが全く見えない(繊維製造業)」原料の仕入価格は上昇しているが、加工単価は不変のため、収益状況については悪化しつつある様子」とのコメントが寄せられた。				
繊維 ファッション			「実店舗の売上の落ち込みが激しいが、EC販売は伸びている(卸・販売業)」コロナの影響が著しく出ている業種といえる。最近の円安・原油高等追い打ちをかけられてきている状況で、先行き不安である(紡績業)」とのコメントが寄せられた。				
工業			「上期は好調であったが、自動車減産の影響が気がりである(化学工業)」建設機械・産業機械は好調を維持しているが自動車業界の減産が続く見込みで、景気の悪化が心配(鋼製造業)」鋼材、ナフサ(石油製品)等、高騰の影響で各資材供給元から値上げ要請がある(鋁金業)」とのコメントが寄せられた。				
建設			「木材・機器関係の材料不足の影響が継続している(建材卸)」建設現場も少し動きが出てきている。コロナ対策などで、今までより作業工程等が増加しており、従来以上に時間を要するようになってきている(電設工事業)」原材料価格の上昇と資材・製品納期の遅れが目立つ(建設業)」とのコメントが寄せられた。				
運輸倉庫			「原油の高騰に伴い、経費が上昇し、収益を圧迫する可能性がある(倉庫業)」消費動向が悪いのか、出荷数量が悪く、庫腹状況は満庫状態。10月より良くなるのか不安である(倉庫業)」海外輸出を含め、メーカーの動きを注視する必要がある(倉庫業)」とのコメントが寄せられた。				
金融理財			「公的部門の赤字(国債)が民間部門での貯蓄として積みあがっておりコロナの収束とともに景気は好転すると確信している(土業)」コロナ禍ではあるが相続遺言公正書類の作成依頼が変わらず多い。コロナ感染者が減っているため建設業の許認可の依頼も例年と変わらない(土業)」コロナ後を見据えた労務管理や来年度に控えている人事労務関連の法改正への対応などへの準備をしないとイケない(土業)」とのコメントが寄せられた。				
一般商業			「輸入牛肉の価格が高騰しているが、販売価格になかなか転嫁できない(食肉小売業)」コロナの収束傾向でコロナ関連の売上が減少している。ウイズコロナ用のビジネス展開が必要(消毒液等小売業)」緊急事態が明け、需要の戻りが少しでもあることを期待(貴金属小売業)」とのコメントが寄せられた。				
サービス商業			「GOTOトラベルが再開しなければ昨年より悪化する(旅行業)」外出する機会がコロナ禍のため減少しており、進物商品はなかなか厳しい(和洋菓子製造販売)」外食の頻度が減少したままである(飲食業)」飲酒が解禁となり、売上が増加(飲食業)」密にならないように配慮する苦労がある(飲食業)」とのコメントが寄せられた。				

(調査概要) ●調査実施 令和3年10月 ●調査対象企業 288社 ●回答数 129社

管内企業をとりまく諸条件を考慮し、各企業が「景況」をどのように予測しているのかについて、継続的に調査し発表しています。調査は、四半期毎にとらえており、通常のシーズンの動向が理解できるようにまとめました。この「景況予測」が「結果」と比べてどうであったか、また、各々の業界対策・企業経営の一つとして、参考にいただければ幸いです。

～調査機関～ 泉大津市田中町10番7号 泉大津商工会議所 業務課 TEL 0725-23-1111